学校番号	1007

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	詳述歴史総合　（実教出版）						
副教材等	ダイアローグ歴史総合　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・世界の国や日本の諸事情、諸課題を踏まえ、歴史を背景とした相互関連の中で現在の世界・日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	近現代の歴史について、世界と日本を相互的な視野からとらえ、理解している。諸資料から、様々な情報を調べまとめる技能を身につけている。	近現代の歴史について、多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題の解決を視野に入れて構想したり、説明、表現している。	近現代の歴史に対する関心を高め、主体的、意欲的に追求しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近代化と私たち	歴史の扉	a:私達の生活が、日本や周辺の地域および世界の歴史と繋がっていること、資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。 b:私達の生活や身近な地域にみられる諸事象と日本や周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現する。 c:全体の学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査 プリント	ノート プリント

		結びつく世界と日本の開国 ・18 世紀の東アジアにおける社会と経済 ・貿易が結んだ世界と日本 ・産業革命 ・中国の開港と日本の開国	a：18 世紀のアジアの経済と社会、産業革命、中国の開港と日本の開国などをもとに、工業化と世界市場の形成について理解している。 b：18 世紀のアジアにおける経済活動の特徴、アジア地域間・アジアと欧米の関係、などについて主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：近代化の歴史にかかわる諸事象について、見通しをもって取り組もうとし、課題を追究しようとしている。	ノート 定期考査 小テスト	ノート 定期考査 プリント	ノート プリント
		国民国家と明治維新 ・市民革命 ・国民国家とナショナリズム ・明治維新 ・日本の産業革命 ・帝国主義 ・変容する東アジアの国際秩序 ・日露戦争と東アジアの変動	a：欧米の市民革命や国民統合の動向、明治維新や明治憲法の制定などをもとに、立憲体制と国民国家の形成について理解している。列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などをもとに、帝国主義政策とアジア諸国の変容について理解している。 ｂ：国民国家の特徴、帝国主義政策、列強関係の変容等を多面的・多角的に考察し表現している。 c：近代化の歴史にかかわる諸事象について、見通しをもって取り組もうとし、振り返りながら課題を追究しようとしている。	ノート 定期考査 小テスト	ノート 定期考査 プリント	ノート プリント

2学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	総力戦と社会運動 ・第一次世界大戦の展開 ・ソ連の成立とアメリカ合衆国の台頭 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・世界経済の変容と日本 ・大衆の政治参加 ・消費社会と大衆文化	a:諸資料などから、第一次世界大戦の要因・経過、ソ連の成立とアメリカ合衆国の発展、戦後の国際体制の内容を理解している。大衆の政治参加、大正デモクラシー、大量消費社会・大衆文化をもとに、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 b:第一次世界大戦の特徴・影響、社会主義革命の波及に対する諸外国の姿勢、アメリカ合衆国の経済的繁栄がもたらした問題点、パリ講和会議、ワシントン会議における各国の立場の違い・日本の立場について、考察し、表現している。第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連を多面的・多角的に考察、表現している。 c:国際秩序の変化や大衆化の歴史にかかわる諸事象について、見通しをもって取り組もうとし、考察しようとしている。	ノート 定期考査 小テスト	ノート 定期考査 プリント	ノート プリント

		経済危機と第二次世界大戦 ・世界恐慌の時代 ・ファシズムの伸長と共産主義 ・日中戦争への道 ・第二次世界大戦の展開 ・第二次世界大戦下の社会 ・国際連合と国際経済体制 ・占領と戦後改革 ・冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 ・日本の独立と日米安全保障条約	a:世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策などをもとに、国際協調体制の動揺を理解している。第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済、冷戦とアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などをもとに、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 b:経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化、第二次世界大戦の推移と影響、その後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:国際秩序の変化や大衆化の歴史にかかわる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとし、振り返りながら追究しようとしている。	ノート 定期考査 小テスト	ノート 定期考査 プリント	ノート プリント

3学期	グローバル化と私たち	冷戦と世界経済 ・冷戦下の地域紛争と脱植民地化 ・東西両陣営の動向と 1960 年代の社会 ・軍拡競争から緊張緩和へ ・地域連携の形成と展開 ・計画経済とその波及 ・日本の高度経済成長 ・アジアの中の戦後日本	a:脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の紛争、先進国の政治の動向などをもとに、国際委政治の変容を理解している。西欧や東南アジアの地域連携、日本の経済成長などをもとに資料から様々な情報を調べ、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 b:地域紛争と冷戦、第三世界の経済政策の特徴、欧米・ソ連の政策転換などについて、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、m 表現している。 冷戦下の世界経済、地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを考察、表現している。 c:グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって取り組もうとし、課題を追究しようとしている。	ノート 定期考査 小テスト	ノート 定期考査 プリント	ノート プリント
		世界秩序の変容と日本 ・石油危機 ・アジア諸地域の経済発展 ・市場開放と経済の自由化 ・情報技術革命とグローバリゼーション ・冷戦の終結とソ連の崩壊 ・現代の東アジア ・東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの独立 ・地域統合の拡大と変容 ・現代と私たち	a:市場経済の変化と課題、冷戦の終結後の国際政治の変容と課題について、諸資料をもとに、理解している。 b:市場経済のグローバル化と日本の役割、冷戦の終結後の国際政治の特徴と日本の役割について、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:グローバル化の歴史にかかわる諸事象について、見通しをもって取り組もうとし、課題を追究しようとしている。	ノート 定期考査 小テスト	ノート 定期考査 プリント	ノート プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度